

Press release

2009年第2四半期 事業報告書

2009年7月15日公表

リオティント最高経営責任者(CEO)の Tom Albanese は、2009年第2四半期の生産結果を振り返り、以下の通りコメントしました。「第2四半期におけるマーケットは、予想通り、厳しい状況が続いています。アルミニウム部門は特に厳しい状況にありますが、1月に発表した減産の効果が現れ始め、このレポートにもそれが反映されています。我々は引き続き、全社的にコストを削減する活動や、需要に応じた生産調整を行い、さらに、純有利子負債の削減を推し進めています。今月実施した 152 億ドルの株主割当増資(rights issue)は無事に完了し、今年これまでに合意に達した資産売却は、37 億ドルとなりました。

- リオティントの全世界における当四半期の鉄鉱石生産量は、前年同期比 8%増となりました。
- Pilbara での鉄鉱石の生産量は、生産能力通りの操業を反映して 5,300 万トン（リオティント持分ベースでは 4,200 万トン）となり、前年同期比 11%増となりました。
- 急激な需要の落ち込みを受け、生産削減を行ったため、前年同期比でボーキサイト生産は 14%減、アルミナの生産は 6%減、アルミニウムの生産は 5%減少しました。第2四半期のアルミニウムの取引は、第1四半期より若干改善したものの、引き続き困難な状況にあります。
- Kennecott Utah Copper 及び Grasberg における銅品位は回復しましたが、Escondida における銅品位の低下及び操業面での問題が継続した事により、総合的には銅採鉱量が前年同期比 1%減となりました。
- Kennecott Utah Copper における操業の改善及び銅精鉱の品位が改善したこと、Escondida におけるカソードの生産が増加したことにより、銅地金の生産は前年同期比 23%増となりました。
- 豪州における強粘結炭及び一般炭の生産量は、それぞれ前年同期比 7%減と 3%増となりました。
- 2009年6月5日、リオティントは、BHP Billiton と拘束力を持たない形で西豪州鉄鉱石の生産合弁会社の設立について合意しました。
- 2009年においては、リオティントは 37 億ドルの資産売却を発表しました。この中には、7月6日に発表した 12 億ドルの Alcan Packaging Food Americas 部門の売却分が含まれています。
- 7月3日に実施した 152 億ドルの株主割当(rights issue)は無事に完了し、Rio Tinto plc には 96.97%、Rio Tinto Limited には 94.76%の有効な応募が集まりました。株式発行による資金は、リオティントグループの負債を返済するために利用されます。

この報告書に記載されている通貨は、別途記載がない限り全て米ドルです。同様に説明文に関しても、別途記載がない限り、リオティントの持分に関するものとなります。

鉄鉱石

リオティントの生産シェア

(単位：千トン)

	09年2Q	08年2Q比	09年1Q比	09年上半期	08年上半期
Hamersley	31,028	+3%	+35%	53,994	-5%
Hope Downs	2,748	+59%	+61%	4,455	+96%
Robe River	8,298	+15%	+76%	13,016	-10%
IOC	2,515	+5%	+36%	4,368	-3%

マーケット

リオティントは、第2四半期に2009年度の鉄鉱石供給契約に関して、日本・韓国・台湾と合意いたしました。それ以外の顧客に関しても、暫定価格もしくはスポット価格でのデリバリーがされています。リオティントが今年1月より生産した鉄鉱石の約半分がスポット取引にて販売されています。当四半期は、運賃の上昇をうけてCFRベースのスポット価格は上がりましたが、一方で、海上運賃をのぞいたFOBベースでみるとスポット価格は比較的一定のレベルで推移しました。

Pilbaraにおける操業

当四半期の鉄鉱石生産量は5,300万トン（リオティント持分ベースでは4,200万トン）となり、前四半期比47%増、前年同期比11%増となりました。第2四半期の西豪州Pilbara地域における合計船積量は5,250万トンとなり、前四半期比33%増、前年同期比14%増となりました。

直近の主たる拡張工事が休止され、又Robe Valley鉄道が6週間の操業停止となった第1四半期での長期の豪雨の影響からも回復し、第2四半期ではPilbaraのインフラ設備は、フル生産に近いレベルで操業をいたしました。

また第2四半期にはいくつかの記録に残る出来事がありました。

Cape Lambert港での初の4船同時停泊操業、そして自動輸送システムの試みの一環としてトラックの完全自動運転により輸送で500万トンを輸送しました。

Iron Ore Company of Canada (IOC)

第2四半期のIOCにおけるペレット及びコンセントレートのリオティント持分の生産量は、250万トンとなり、前年同期比5%増となりました。

世界的な金融危機による需要の低迷により、三つの生産ラインにおけるペレット生産が一時的に休止となりました。また、7月7日より5週間の夏季操業休止が始まりました。

HI Smelt

世界の鉄鉄価格の下落およびマーケット見通しの悪化により、西豪州のHI Smelt鉄鉄生産設備は、2010年4月までメンテナンス計画に入りました。

2009年生産目標

豪州・カナダ・ブラジルにあるリオティントのグローバルな生産の2009年における鉄鉱石の目標は、中国での鉄鋼需要の回復が2009年下半年においても続く見通しであり、およそ2億トン（100%ベース）となっています。

アルミニウム

リオティントの生産シェア

(単位：千トン)

	09年2Q	08年2Q比	09年1Q比	09年上半期	08年上半期
Rio Tinto Alcan					
Bauxite	7,217	-14%	+4%	14,182	-17%
Alumina	2,139	-6%	-2%	4,325	-4%
Aluminium	942	-5%	-1%	1,889	-5%

経営陣は非常に困難な取引状況を勘案し、生産コストを低減させるため、広範囲に及ぶ閉鎖や減産のプログラムを導入しました。ボーキサイトの生産量を5百万トン削減し、コスト高のアルミナ精製能力の減産を行うとともに、2009年末までに、地金製錬能力の12%に相当する合計45万トンについて、売却、閉鎖及び減産を行う予定です。その中には、Angleseyにおいて予想される製錬事業の中止、Beauharnoisの閉鎖、及び欧州・カナダにある高コストの製錬所の減産が含まれています。

Rio Tinto Alcanにおける現状の地金製錬能力の80%以上は、業界におけるコストカーブの低い方の半分にあります。上記の活動により、コストカーブの高い方の半分にあるRio Tinto Alcanの地金製錬能力のうち、42%分について売却されるか減産されることとなります。

カナダと豪州の通貨上昇を背景に、コスト削減対策がマージンの改善につながります。一方、これらの為替変動の影響については、現金支出を伴わない貸借対照表の換算変動の影響や他の現金支出を伴わない効果等に関して、2009年の上半期のEBITDAにマイナスの影響を与えることが想定されます。

ボーキサイト

第2四半期のボーキサイトの生産量は、Weipaにおける生産が19%減少したため、前年同期比14%減となりました。2009年4月にRio Tinto Alcanは、Weipaの年間生産量を1,500万トンにまで減産することを発表しました(2008年は2,000万トン)。これは、近年アルミナ及びアルミニウムの需要及び価格が急激に落ちているためです。Rio Tinto Alcanの全世界の2009年のボーキサイト生産量は約3,100万トンとなることが予想されます(前年比11%減)。

アルミナ

第2四半期におけるアルミナ生産量は前年同期比6%減となりました。2009年1月に発表されたVaudreuil及びGardanneアルミナ精製所における生産カットに伴い、2009年の年間アルミナ生産量は前年に比べ6%削減されました。

Sao Luis (Alumar)アルミナ精製所(Rio Tinto Alcan持分10%)を年間150万トンから350万トン(100%ベース)にする拡張及び近代化プロジェクトはほぼ完成しており、拡張後の設備からの初めての追加生産が2009年6月に実現しました。

アルミニウム

第2四半期のアルミニウム生産量は、前年同期比5%減となりました。カナダの低コストの製錬所での操業が安定していた一方、カナダ・欧州での減産及びニュージーランドでの変圧器事故による減産により生産に影響を受けました。オマーンにあるSohar製錬所はスケジュール通り、徐々に生産が増加しており、当四半期においては9万トン(100%ベース)の地金が生産されました。

2009年1月の中国のNingxia製錬所売却に続き、4月末のカナダQuebecのBeauharnois製錬所閉鎖、9月末に想定されている英国Wales・Anglesey製錬所における製錬事業の中止、及びその他の様々な減産によって、Rio Tinto Alcanのアルミニウム生産能力は2009年末までに12%低い年間操業率で操業される見込みです。2009年の生産量は380万トン(リオティント持分)となり、前年比6%減となる見込みです。

Alcan 下流ビジネス

Alcan Engineered Productsのビジネスにおける取引状況は、第2四半期も引き続き困難な状況が続きました。経済状況の悪化により全てのセクターにおいて販売数量が大幅に減少し、その結果、単位あたりの生産コストが上昇しました。

リオティントは Alcan Packaging Food Americas 部門を 12 億ドルで売却する合意に達したことを 2009 年 7 月 6 日に発表しましたが、この金額のうち、2 億ドル分については Bemis Company, Inc. の株式を受領する可能性があります。この取引の完了のためには、規制当局の承認を含む、売却完了のための様々な手続きが必要となり、2009 年の下半期に完了が見込まれます。

銅

リオティントの生産シェア

(単位：千トン/金=千オンス)

	09 年 2Q	08 年 2Q 比	09 年 1Q 比	09 年上半期	08 年上半期
KUC					
銅採鉱量	86.2	+43%	+15%	160.9	+53%
銅地金生産量	65.1	+32%	-5%	133.7	+32%
モリブデン	2.5	+10%	+22%	4.5	-21%
金採鉱量	160	+74%	+26%	287	+78%
金地金生産量	112	+53%	+4%	220	+43%
Escondida					
銅採鉱量	76.2	-41%	-3%	154.3	-37%
銅地金生産量	25.7	+22%	+10%	49.2	+34%
Grasberg JV					
銅採鉱量	25.3	+1324%	+3%	50.1	+1306%
金採鉱量	73	n/a	+43%	124	n/a

*合弁事業契約に基づき、リオティントに割り当てられた金のシェアは、2008 年においてはありませんでした。

Kennecott Utah Copper

第 2 四半期における銅及び金の採鉱量はそれぞれ、前年同期比 43% 増と 74% 増となりました。モリブデンのマーケットが悪化したため、銅と金に焦点をあてた採鉱手順となりました。上記の要素に加え、通常の採鉱手順に基づき採鉱した鉱体にも、特別高品質な鉱石が含まれていたため、前年同期を上回る結果となりました。

選鉱所の浮遊選鉱工程を最適化する日々の努力が反映され、第 2 四半期においては、粗鉱処理量が増加し、実収率も改善しました。これらの改善により、生産された銅精鉱の量と品位が上昇しました。製錬所の安定した操業により、2008 年第 2 四半期と比較して、アノードの生産量が増えた結果、精錬所における銅地金及び貴金属の生産量も増加しました。

Escondida

第 2 四半期における銅採鉱量のリオティントのシェアは、前年同期比 41% 減となりました。粗鉱品位の減少及び選鉱所における SAG mill 発動機の問題と、Escondida の Norte pit における鉱石生産が減少したことが原因です。硫化鉱のリーチングによる生産が増加したことにより、第 2 四半期における銅地金の生産量は前年同期比 22% 増となり、前四半期比 10% 増となりました。SAG mill 発動機の問題を修復するため、選鉱所にて 2009 年の 7 月と 8 月に 45 日間の操業停止を予定しております。

Grasberg

合弁事業による銅及び金のリオティント持分は、鉱石の品位上昇が寄与し、前年同期と比較して大幅に上昇しました。合弁事業契約に基づき、リオティントに割り当てられた金のシェアは、2008 年においてはありませんでした。Freeport 第二四半期の事業報告書については、2009 年 7 月 21 日に公表される模様です。

2009 年生産見通し

リオティントの 2009 年における銅採鉱量及び銅地金の生産目標は、それぞれ 78 万トンと 42.5 万トンとなる見通しです。

ダイヤモンド

リオティントの生産シェア

(単位：千カラット)

	09年2Q	08年2Q比	09年1Q比	09年上半期	08年上半期
Argyle	408	-86%	-91%	4,812	-7%
Diavik	853	-44%	-20%	1,924	-26%

経済状況の悪化により、商品価格及び販売数量に深刻な影響を与えました。全世界で流動性が低下したことで、流通在庫の水準が低下し、未加工ダイヤモンドのマーケットが悪化しました。

Argyle の第2四半期における生産量は、前年同期比 86%減となりました。これは、以前発表し 2009年3月から5月に実施された、加工工場における炉修による操業停止のためです。6月より加工作業が再開されています。

Diavik の第2四半期における生産量は、経済後退により生産の規模を縮小する操業を行った結果、前年同期比 44%減となりました。さらに、品位が劣る A418 pipe からの鉱石の比率が上昇したことも要因となりました。二回行われる 6週間の操業停止のうち、1回目が7月14日に開始されました。ダイヤモンドの生産は一時的に停止され、鉱山は補修維持(care & maintenance)のスケジュールに入りました。上記の結果、Diavik の 2009年における未加工ダイヤモンドの生産量は、約 5~600万カラット(100%ベース)と想定されます。

エネルギー

米国一般炭

リオティントの生産シェア

(単位：千トン)

	09年2Q	08年2Q比	09年1Q比	09年上半期	08年上半期
RTEA*	28,304	-5%	-6%	58,316	-2%

*RTEA (Rio Tinto Energy America)

*Colowyo 炭鉱は RTEA の一部ではなくなったため、単独で報告されています。

RTEA の第2四半期における生産量及び出荷量は、前年同期比 5%減となりました。経済後退により、石炭火力発電の需要が減少し、一部の顧客はよりコストが低い天然ガスの使用へ切り替えを行いました。

豪州石炭

リオティントの生産シェア

(単位：千トン)

	09年2Q	08年2Q比	09年1Q比	09年上半期	08年上半期
RTCA ¹					
強粘結炭	1,898	-7%	+38%	3,271	+6%
その他石炭 ¹	5,734	+3%	+8%	11,050	+1%

¹ RTCA (Rio Tinto Coal Australia)

Queensland 州の石炭操業における強粘結炭の生産量は、雨天による影響を受け、前年同期比 7%減となりました。Kestrel における 2009年の生産量は、一般炭が占める割合が増加するものの、前年とほぼ同じ水準になることが見込まれています。

強粘結炭及び一般炭の生産量が、前四半期と比較して増加したのは、採掘条件が改善したこと及び原料炭の需要が回復したことが寄与しています。

Newcastle 及び Dalrymple Bay における石炭積出港の所有者及び操業者による投資プログラムは、2009年の第3四半期の終わりに完了する見込みで、それにより、石炭ターミナルにおける出荷能力が増強されます。

ウラン

リオティントの生産シェア

(単位：千ポンド)

	09年 2Q	08年 2Q 比	09年 1Q 比	09年上半期	08年上半期
ERA ¹	2,180	+33%	+16%	4,063	+11%
Rössing	1,461	-3%	-1%	2,938	+3%

¹Energy Resources of Australia

リオティント持分の第2四半期におけるウランの生産量は、前年同期比16%増となりました。ERAの生産量は、鉱石の品位上昇、及びプラントの稼働率が改善されたこと、更にはラテライト鉱石用の精製プラントの操業が開始したことで33%増となりました。Rössingの生産量は、一部、高品位の鉱石にアクセスできたことによって相殺されたものの、6月に予定されていた14日間の操業停止が行われたことで、微減となりました。

産業用鉱産物

リオティントの生産シェア

(単位：千トン)

	09年 2Q	08年 2Q 比	09年 1Q 比	09年上半期	08年上半期
ホウ酸塩	79	-54%	-29%	190	-41%
酸化チタン原材料	332	-18%	+2%	656	-14%

産業用鉱産物の生産量は、全主要地域における経済活動の縮小に伴い需要が減少したことに悪影響を受けました。さらに、当四半期において予定通りの炉修が行われました。当四半期において、QMM(マダガスカル)からカナダへ、イルメナイト鉱石の最初の出荷が行われました。

最近のマーケットが不透明であるため、QITにおけるイルメナイト鉱山及びカナダの製錬業務を夏二ヶ月間、操業停止することになります。Richards Bayにおいて、四つあるうち一つの炉が、定期炉修の為、5ヶ月間操業停止となっています。2009年におけるRio Tinto Iron & Titanium製品の生産数量は、大よそ前年比14%減が見込まれます。

2009年第1四半期において、リオティントはアルゼンチンとカナダにある未開発のカリウムの資産を8.5億ドルで売却しました。売却益はエネルギー及び鉱産物のプロジェクト評価の基礎的当期純利益(underlying earnings)として認識されることが見込まれ、税引前では8.18億ドル、税引後では7.97億ドルになると予測されています。

探鉱及び評価

2009年上半期の探鉱及び評価の税前及び資産売却前費用は、損益勘定に2.42億ドル費用計上され、前年同期においては4.01億ドル費用計上されました。2009年上半期において、リオティントグループは7,300万ドルの探鉱所有地の売却を認識しました。

リオティントグループ全体の探鉱及び評価費用は、2009年に規模を縮小しました。これは管理可能な操業コストを2010年までに年間で最低25億ドル削減するというリオティントグループの公約に依拠したものです。2009年における新規鉱山開発の探鉱費用の本社予算は、大よそ60%カットされ1億ドルとなりました。(税金及び売却収入考慮前)

チリにおけるRio Tinto ExplorationとCodelcoとの提携は、Collahuasiの北部に位置するPasacas採掘有望地の追加により、拡大されました。

Serbiaにおいて発見されたJadarのリチウムホウ酸塩は、Rio Tinto ExplorationからRio Tinto Mineralsに譲渡される準備が整いつつあり、予備事業化調査(pre-feasibility study)の評価プログラムが開始されることとなります。

コンゴ民主共和国の北東にある、Orientale鉄鉱石プロジェクトにおいて、地上から航空磁気異常の測定を開始しました。

今期の活動をまとめた表は以下の通りとなります。

商品事業部	進行したプロジェクト	新規プログラム
アルミニウム	Amargosa、ブラジル	豪州、ブラジル、ガイアナ、ラオス
銅及びダイヤモンド	銅：Tamarack South、米国	銅：チリ、ペルー、米国 ダイヤモンド：インド、カナダ、米国、コンゴ民主共和国
エネルギー及び産業用鉱産物	石炭：Altai Nuurs、モンゴル； Crownsnest、カナダ 産業用鉱産物：Jadar リチウム ホウ酸塩、Serbia	石炭：カナダ、南アフリカ、タンザニア、モンゴル ウラン：ヨルダン
鉄鉱石	Pilbara、豪州	ブラジル、コンゴ民主共和国

鉱山リースによる探鉱については、Kennecott Utah Copper、Northparkes、Energy Resources of Australia、Rössing、Diavik、及びPilbara Ironを含む、リオティントの数多くの事業で引き続き行われています。

予備事業化調査(pre-feasibility study)又は事業化調査(feasibility study)については、Resolution (銅・金、米国)、La Granja(銅、ペルー)、Eagle(ニッケル・銅、米国)、Bunder(ダイヤモンド、インド)、Simandou(鉄鉱石、ギニア)及びPilbara 鉄鉱石鉱床を含むリオティントの数多くのプロジェクトで成果をあげています。

About Rio Tinto

Rio Tinto is a leading international mining group headquartered in the UK, combining Rio Tinto plc, a London and NYSE listed public company, and Rio Tinto Limited, which is a public company listed on the Australian Securities Exchange.

Rio Tinto's business is finding, mining, and processing mineral resources. Major products are aluminium, copper, diamonds, energy (coal and uranium), gold, industrial minerals (borax, titanium dioxide, salt, talc) and iron ore. Activities span the world but are strongly represented in Australia and North America with significant businesses in South America, Asia, Europe and southern Africa.

【本件に関するお問い合わせ先】

ロンドン

Media Relations

Nick Cobban

電話：+44-20-7781-1138

携帯：+44-7920-041-003

Christina Mills

電話：+44-20-7781-1154

携帯：+44-7825-275-605

アメリカ

Media Relations

Tony Shaffer

電話：+1-202-393-0266

携帯：+1-202-256-3667

ロンドン

Investor Relations

Nigel Jones

電話：+44-20-7781-2049

携帯：+44-7917-227-365

David Ovington

電話：+44-20-7781-2051

携帯：+44-7920-010-978

北米

Investor Relations

Jason Combes

電話：+1-801-204-2919

携帯：+1-801-558-2645

メール：questions@riotinto.com

ウェブサイト：www.riotinto.com

高画質な映像は右のリンク先より参照可能です：www.newscast.co.uk

日本

財務業務部

植松 健

電話：03-3222-2440

携帯：090-4012-5960

メール：Ken.Uematsu@riotinto.com

豪州

Media Relations

Amanda Buckley

電話：+61-3-9283-3627

携帯：+61-419-801-349

Ian Head

電話：+61-3-9283-3620

携帯：+61-408-360-101

カナダ

Media Relations

Stefano Bertolli

電話：+1-514-848-8151

携帯：+1-514-945-1800

豪州

Investor Relations

Dave Skinner

電話：+61-3-9283-3628

携帯：+61-408-335-309

Simon Ellinor

電話：+61-7-3361-4365

携帯：+61-439-102-811

大木 龍

電話：03-3222-2440

携帯：090-8847-0607

メール：Ryo.Ohki@riotinto.com